令和４年度　自己評価・学校関係者評価報告書

令和 5年 3月 31日

(学)金沢学園　(認)金沢幼稚園

1、　本園の教育目標

Ⅰ．教育目標の具現化…・教師のねがい、・幼児の実態、・家庭の実態、・地域の実態、・園の教育環境の５点を踏まえ

Ⅱ．教育目標…◎明るく信仰心のある子育成 ◎約束を守り自主性のある子ども ◎仲良く遊ぶ人間味のある子の育成

2、　本年度重点的に取り組む目標・計画／

・幼児を理解し、集団で育ち合う遊びの工夫と実践

3、　評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	全体的な計画を見直し改善を図る	B	幼児の姿や遊びの記録をもとに、保育士が定期的に話し合い、ねらいや内容の見直しを行った。
2	保育の質向上のために、園内研修を充実させる	A	あそびの充実を図るため、PDCA を繰り返し、その結果、遊びが充実し、保育の質の向上が見られた。
3	特別支援教育のための園内支援体制を整備する	A	特別支援コーディネーターを配置し、家庭や関係機関との連携を図った。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

4、　総合的な評価結果

評価	
A	コロナ禍、３つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人ひとりの幼児を大切にした、安全な保育を実践する事ができた。また、さらなる保育の質の向上に向けた課題も明確になった。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

5、　今後取り組む課題

	課　題	
1	環境	コロナ禍、ベビーとの合同保育含め、園庭や室内の環境について話し合い、遊びが充実するように幼児の発達に添った環境の構成に取り組む。
2	安全管理	業務継続計画や危機管理ガイドラインを新設し、緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアル等を保育士間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る。
3	保小接続	コロナ禍、保育士と小学校の教師が共に学ぶ機会を持ち、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して教育の接続を図る。

6、学校関係者評価委員会の評価

※委員の総合的見解は、総合評価のＡと同様にほぼ評価が高かった。

１．コロナ禍、安全に一年間保育ができたこと、コロナ禍の研究が進み保育の質を確保できた。

２．公開保育の開催で環境も修理・修繕で整え、保育の質の向上にもつながったとの高い評価を得た。

３．学園全体的に高評価と４施設の連携や地域社会との連携も確立でき委員からも良い賛辞を頂いた。